

2018年入社式 社長メッセージ

本日は、入社おめでとうございます。NEEを代表して皆さんを歓迎するとともに、心からお祝いを申し上げます。

入社式に当たり社長として、また人生の先輩として、少しお願いも含めてお話をさせていただきます。

皆さんが入社したこの「ネクスコ東日本エンジニアリング」という会社は、高速道路や休憩施設などを「建設し、運営・維持管理する」ネクスコ東日本グループの一員です。そして、われわれはネクスコグループの一員として主に点検部門をになう、エンジニアリング会社の中心的な役割を果たしています。

わが社は皆さま方社員をかけがえのないただ一つの財産として、技術で勝負する会社。高速道路の安全と安心を守るホームドクターであり、技術のプロフェッショナル集団です。高速道路の現場に軸足を置き、これまでに培ってきた技術やノウハウは、どこにも負けないものを持っているネクスコエンジニアリンググループのリーディングカンパニーであると自負しています。

また、私達に託された高速道路は極めて膨大な延長です。中には老朽化の進行、都市部の厳しい交通環境や地方の厳しい自然環境に晒されている区間も多々あるため、点検業務は膨大かつ複雑なものとなっています。

日々の安全・安心はもとより、将来にわたり高速道路の安全を確保していくためには、新しい技術の開発や導入など並大抵の努力では務まりません。本日ここに同席している役員や先輩社員も日々勉強や研究を続けています。

昨年わが社は新たな中期経営計画をスタートさせましたが、この計画の中には今、「わが社がやるべきこと」と共に「わが社の夢や希望」も詰まっています。今日から新しく社員に加わった皆さんといっしょになって、この夢を実現していきたいと思います。

そこで本日は、社会人として一步を踏み出した皆さんに対して、エールとアドバイスの意味も込めて五点申し上げたいと思います。

一点目ですが、「高速道路のあらゆるメンテナンス」は私たちが担当している「点検と診断」に基づいて行われています。

つまり私たちが担っている仕事は、高速道路のあらゆるメンテナンスの起点であり、川の流れに例えれば一番上流側の仕事だということです。

上流の水が濁れば下流の水も濁るように、私たちが間違いを犯すと高速道路のメンテナンス全体が誤った方向に進みかねません。

従って、私たちはお客様の命をお預かりしているといっても過言ではない、大変重要な仕事を担っているということです。皆さんも是非、このことを誇りに思うとともに真摯に受け止め、緊張感を持って社会人としての第一歩を踏み出していただきたい、ということが最初のお願いです。

二点目が、「大いなる好奇心を抱いて」「貪欲に学び、考える姿勢」を持ち続けて欲しいということです。

ある講演会で聴いた言葉ですが、「百聞は一見にしかず」と言いますが「百見は一考にしかず」だと。ただ見聞しただけでは知識にしかならない、考えて初めてその知識が本当に自分のものになり、様々な課題の解決に繋がる知恵になるというような意味の話だったと思います。

人は学ぶことにより知識を得て、考えることにより知識を知恵に変え、知恵を使って目の前の壁を繰り返し乗り越えることにより成長していくものです。

面白くないことや興味がないことは勉強する気持ちになれないですよね。仮に無理やり勉強したとしても、その知識は身につかない。いわんや、現実の問題に応用できる知恵となるまで考え続けることは、不可能に近い話です。

興味がある面白い事だったら言われなくても勉強するでしょうし、逆に勉強を禁止されたら相当つらいことになるはずですよ

大いなる好奇心をもって、貪欲に勉強してください。わからない事や疑問に感じたことは、遠慮することなく、上司や先輩に徹底的に質問して下さい。

また、納得がいくまで自分で調べるなど、わからないままにしておかないでください。そして考えることにより、知識を知恵に変えることを実践してください。

皆さんがこれから学び・考え、成長していくための、エネルギー・原動力は好奇心です。だから大いなる好奇心をこの先いくつになっても失うことなく、どん欲に学び・考え続けて欲しいという、お願いです。

三点目が、何事に対しても愚直と思われるくらい、真摯に・真面目に取り組む姿勢を身に着けていただきたいということです。

これからの数年間のいわゆる新入社員時代は、きっと皆さんのこの先を決定する、後で振り返れば皆さんにとっての宝の時間だったと思えるような貴重な時間となるはずですよ。どうかこの貴重な時間を無駄にせず、将来の飛躍のためのしっかりとした土台を築いていただきたいと思います。

先ず夢を持ち目標を定めましょう。知識や資格の取得など仕事に限らず人間形成など、失敗を恐れず、仮に失敗してもあきらめないで色々なことにチャレンジすることから始めてください。

大切なことは個別具体のことではなく、いくつになっても勉強する・考える習慣を身に付けること。常に、夢を持ち・目標を定めて、何度失敗しても、失敗を恐れず、あきらめないで、困難にチャレンジし続ける。といった、何事に対しても愚直と思われるくらい、真摯に真面目に取り組む姿勢を身に付けることです。そういう姿勢こそ、将来の飛躍のための堅固な土台となるはずです。

皆さんにとってここからが本当の意味のスタートです。

皆さんが堅固な土台を築きあげ、大きく飛躍されることを期待しています。

四点目が、周りの人と接するときの心構えです。「相手の立場に立って考え、感謝の気持ちを持って接することを心掛けて頂きたい」というお願いです。

これから、みなさんが仕事をするにあたって、また、社会人として生活していく上で色々な人たちと付き合いことになると思いますし、お世話になると思います。

「相手の立場に立つ」ということは、一人よがりにならずより客観的にものを見て、考えることができるということです。

仕事でも人生でも、お世話になる人達には常に感謝の心を持って接してください。受けた恩は皆さんが成長することで返し、そして皆さんに続く人達を支えることで返してください。

わが社の仕事は、一人でやるものではなくチームでやるものです。チームで仕事をする際に最も必要なものは、チーム内の良いコミュニケーションに基づく信頼関係の構築です。

お互いが相手の立場に立って考え、感謝の気持ちを持って接する。これにより、初めて人と人の繋がり・良いコミュニケーションが生まれ、良い組織が築かれます。

良いコミュニケーションを築くことに心がけ、一生の宝物となるような人と人の絆・繋がり、ネットワークを作って頂きたいと思います。

五点目が、「悪いことはしない、ずるはしない」ということです。

新入社員の皆さんを含む、わが社の役員・社員一人ひとりがネクスコ東日本グループというブランドを背負っています。

社会人としての自覚と、わが社の社員でありネクスコ東日本グループの一員であるという誇りを持って、規律正しい人生を歩んでいただきたいというお願いです。

悪いこと・ズルというのは、何も法律に反することだけを言っているわけではありません、ご両親やご家族、友人に、胸を張って説明できないような行動はしないようにということです。

今日から皆さんは社会人となったわけですのでもう甘えは許されません。社会人・大人として高い倫理感をもった人間として、成長されることを期待します。

「Good road Good people ～快適な道路を 信頼できる仲間と～」 当社の「行動憲章」、

「行動の道標」です。皆さんと手を携えて社会に信頼され、期待されるエンジニアリング会社として、さらに成長していきたいと思えます。

最初に話したように皆さま社員一人ひとりが当社にとってかけがえのないただ一つの財産です。従って社員一人一人の成長がそのまま会社の成長に繋がる、そういう会社です。

我が社をさらに良くしていくのは皆さんの若々しい力です。同時に、わが社の将来は皆さんに託されています。

健康に留意し、研鑽に励み、人間的にも大きく成長され、大きく羽ばたかれることを期待しています。